

## 日経景気インデックスの構成指標を変更

日本経済新聞社は、11月30日より日経景気インデックス（日経BI）の構成指標を変更します。これまでは鉱工業生産、商業販売額、有効求人倍率、所定外労働時間の4指標をもとに算出していましたが、変更後は、所定外労働時間を除いた鉱工業生産、商業販売額、有効求人倍率の3指標をもとに算出します。所定外労働時間を除いたのは、働き方改革の進展により景気との連動性が薄れたことに加えて、他の3指標に比べて公表タイミングが遅くなったことにより速報性も薄れ、構成指標としての適切性が低下したためです。

この変更にともない、1973年1月分以降の指数値を、変更後の構成指標で再算出しました。併せて、指数の基準年を2010年から2015年に変更しています。

日経景気インデックスのデータは、日本経済新聞電子版「経済指標ダッシュボード」のほか、日本経済新聞社のデータサービス「日経NEEDS」、会員制のビジネス情報検索サービス「日経テレコン」、企業・業界分析の情報ツール「日経バリューサーチ」でご提供しています。詳しくは下記のサイトをご参照ください。

日本経済新聞電子版「経済指標ダッシュボード」

<https://vdata.nikkei.com/economicdashboard/macro/>

日経NEEDS

<http://www.nikkei.co.jp/needs/>

日経テレコン

<http://telecom.nikkei.co.jp/>

日経バリューサーチ

<http://nvs.nikkei.co.jp/>

本件に関するお問い合わせは [needs@nikkei.co.jp](mailto:needs@nikkei.co.jp) までご連絡ください。